



皆様とともに50年
Since 1972

—記者発表資料—

令和5年7月31日
日本下水道事業団

**建設工事受注者の負担軽減のため、入札・契約制度の追加改正
や施工管理にかかるデジタル技術を活用した取組みを推進します。**

日本下水道事業団（JS）では、品質の確保、入札参加機会の拡大、受注意欲の促進等を図ることを目的として、令和5年度当初に行った改正に続き、建設工事受注者の負担を軽減するための入札・契約制度の追加改正を行います。併せて、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進により、生産性の向上を目的とした施工管理にかかるデジタル技術活用の検証を行います。

（入札・契約制度の追加改定）

1. 入札時における概略工程表の開示

一般土木及び建築工事の入札公告の参考資料として、JSが工期を設定した根拠となる工種毎のバーチャートや工事工程に影響する内容等の施工条件を示した概略工程表を添付します。

2. 入札時に記載する工期に係る運用の明確化

入札公告に掲げる工期について、地方公共団体との協定における完成期限を超えることが想定される場合にあっては、JSと地方公共団体との間で協議を行い、実際に必要とする工期を入札公告において明確にします。

（施工管理にかかるデジタル技術の活用）

3. 施工管理の効率化

JSは、建設現場の遠隔臨場の普及拡大やBIM/CIM活用の推進、工事情報共有システムの全工事適用など、施工管理の効率化に関する取組を進めています。

今後は更なる効率化に向けて、「出来形計測等施工管理へのデジタル技術導入」の適用を推進することにより、建設工事受注者の生産性向上に取り組めます。

4. 実施時期

1. 及び2. については、令和5年9月1日以降に行う公告から適用します。
3. については、令和6年度から一部工事での適用を目指し、令和5年度にJS施工現場で技術の検証を行います。

概略工程表（見本）

参考

[工事名] ○○浄化センター建設工事

名 称	工事予定期間（契約締結日の翌日から約21か月）																								
	月	日	2		4		6		8		10		12		14		16		18		20		22		24
			60	120	180	240	300	360	420	480	540	600	660	720											
1. 準備工・後片付工																									
2. 土工																									
3. 仮設工																									
4. 躯体工																									
(1) 分配槽																									
(2) 反応槽																									
(3) 最終沈殿池																									
(4) 塩素混和池																									
(5) 連絡管廊																									
(6) 汚泥棟																									
5. その他 (特殊工法等)																									
(1) ティーポウ工																									
(2) 上屋工事																									
工事工程に影響する内容等	「工事工程に影響する内容等」には、関連工事や施工上の制約条件を記載します。																								
<備考>	この概略工程表は、入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条に言う設計図書ではない。																								

<問い合わせ先>
 日本下水道事業団
 事業統括部技術監理課
 TEL 03-6361-7840